

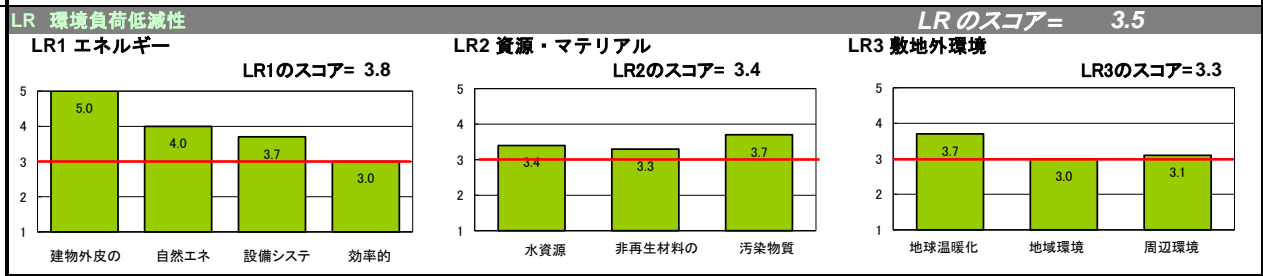
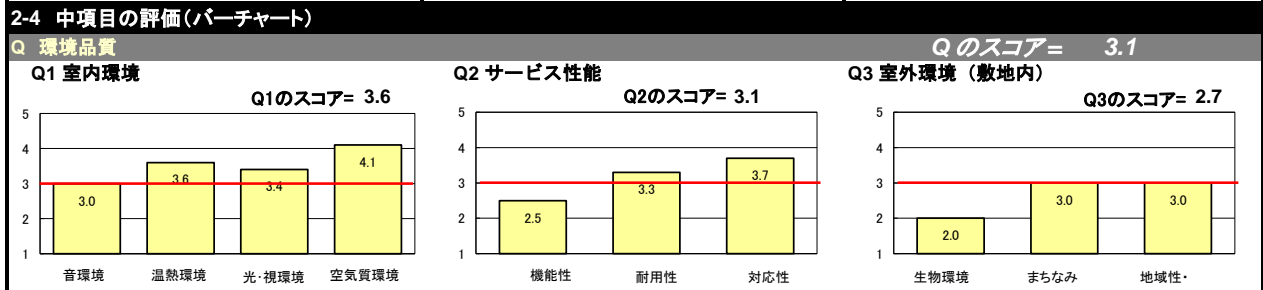
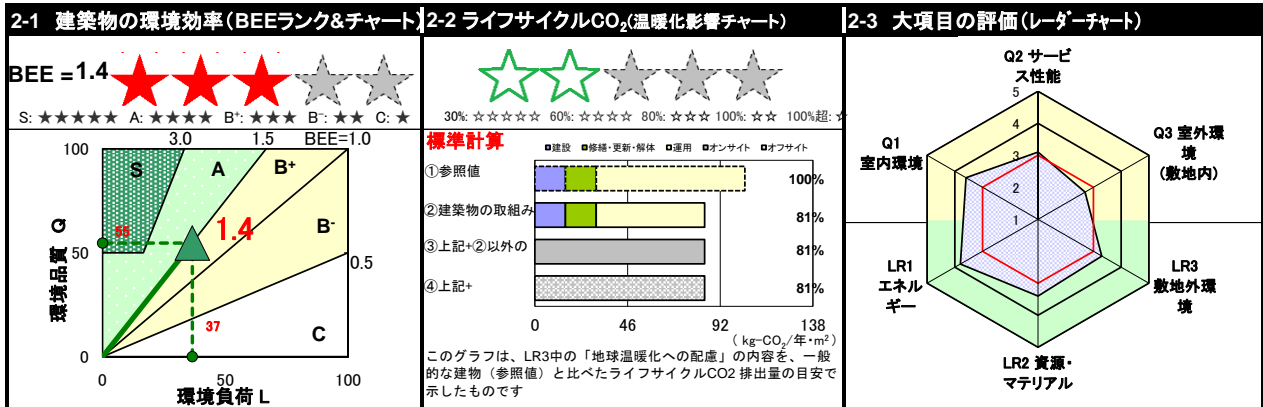
CASBEE神戸ver.3

■使用評価マニュアル: CASBEE神戸ver.3

使用評価ソフト: CASBEE神戸Ver.3/CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

評価結果

1-1 建物概要				1-2 外観	
建物名称	兵庫県立ひょうご障害者総合トレーニングセンター(仮称)	階数	地上3F		
建設地	兵庫県神戸市西区曙町5番、6番、7番	構造	SRC造		
用途地域	第1種中高層住居専用地域、防火地域	平均居住人員	340人		
地域区分	6地域	年間使用時間	2,400時間/年(想定値)		
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2023年3月 予定	評価の実施日	2020年8月26日		
敷地面積	7,611 m ²	作成者	前田 英男		
建築面積	3,881 m ²	確認日			
延床面積	7,814 m ²	確認者			



3 CASBEE神戸の重要項目		
<p>バリアフリー計画</p> <p>Q-2/1.1.3 バリアフリー計画</p> <p>4.0</p>	<p>建築物の耐震性等</p> <p>Q-2/2.1 耐震・免震・制震・制振</p> <p>3.8</p> <p>Q-2/2.4 信頼性</p> <p>2.6</p>	<p>まちなみ・景観への配慮</p> <p>Q-3/2. まちなみ・景観への配慮</p> <p>3.0</p>
<p>配慮の概要</p> <p>特になし。</p>	<p>配慮の概要</p> <p>建築基準法に定められた25%増の耐震性を有する。</p>	<p>配慮の概要</p> <p>特になし。</p>
<p>その他の配慮事項</p> <p>特になし。</p>		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される